

1. 開催日時 令和8年2月18日（水）午後1時10分～午後3時10分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 田澤健司、池谷智晴、高部信男、横原広明、稲垣正彦、松下正行、坂下奈生子、八嶋志帆
4. 欠席委員 吉野好永、辻村悠介
5. オブザーバー 野嶋俊之（入野協働センター所長）
6. 学 校 小嶋澄華（校長）、山内剛治（教頭）、大木賢志（教務主任）、和久田里恵（CS ディレクター）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CS ディレクター 和久田里恵
9. 議長の選出

前回到引き続き、池谷副会長がやっていただけるとのことで、全員異議なくこれを承認した。

#### 10. 協議事項

- （1）来年度の学校運営の基本方針について
- （2）来年度の教育課程（教育活動）について
- （3）学校運営協議会の自己評価について

#### 11. 会議記録

司会の山内から、委員総数の10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

##### （1）来年度の学校運営の基本方針について

校長から別紙資料に基づき来年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 「聞く」ではなく「聴く」という言葉がよく出てきたが、具体的に教えてほしい。聴く側である先生にゆとりがないとできないことだと思う。（池谷委員）  
⇒教師が「しっかり聴きなさい」と指示をするのではなく、子供が主体的に考えていくことが大事。「聴く」ってどうして大事なのか、どういう聴き方がいいのか子供たちと考えていきたい。1学期に学級づくりに力を入れた。自分たちで、よりよい学校生活について話し合う姿に、成果を感じた。今後も力を入れていきたい。（校長）
- 「聴く」を大事にすることはとてもいい。こうやって聴きなさいと指導するのではなく、自分事として子供たちが考えるのもとてもいい。自分で話したいことがあるなら、相手の話も聴く。もっと言えば「傾聴する」という言葉のように、相手の話を理解するだけでなく、相手がどういう気持ちかを読み取ることができると、物事を聞く以上の意味があり、仲間としての一体感が生まれると思う。（田澤委員）
- 聴いてもらえる安心感のもと、子供たちが自分の意見を自由に言える雰囲気であることも大事。「聴く」「話す」のキャッチボールがあり、子供同士でも先生からも、褒めてもらえることが大事。（松下委員）
- 聴くことも話すことも大事だが、うまく手を挙げるできない子への対応は？（稲垣委員）  
⇒それぞれの子で挙手して発表することに対する得意不得意がある。気持ちの伝え方には、話すこと以外にも文字や表情で表現することもできる。授業の中だけでなく、普段からの関係作りが大事であり、ちょっとした行動の変化に気付き、声をかけてあげたい。同時に、社会に出たときに伝える力は大事になるので、少しずつでも育てていきたい。（校長）
- クラス全員から聴く時間を設けるとか、1対1なら話せる子には個別で話を聴くであるとか、言え

ない子が言える対応をお願いしたい。(稲垣委員)

協議の結果、全員異議なく来年度の学校運営基本方針について承認した。

## (2) 来年度の教育課程(教育活動)について

教務の大木から、別紙資料に基づき来年度の教育課程について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- 休み時間に外で遊ぶ子が少ないということだが、子供に外で何をやりたいか希望を聞いて、それに合った設備を整えたら、外に出るのではないか。(横原委員)
- 来年度より3年生以上は毎日の予定帳記入から、2週間分の予定表配付に変更ということだが、保護者が見る機会はあるのか。子供がどんな学習をしているか把握できるので、家庭で見ることができるといいと思う。(高部委員)  
⇒本読みカードの左側に貼るので、家庭でも目を通すことができる。(教務)
- キャリアパスポートについて、自分に対して振り返り、「自分に対して褒める」という言葉を入れてほしい。自分を褒めることにより、自己肯定感が上がると思う。また、柔らかい表現を使うなどキャリアパスポートの内容の工夫をしてほしい。(松下委員)
- 各学校にてキャリアパスポートの内容を変えることはできるのか。高校3年生まで続くので、数年経って見返すと楽しいと思う。(高部委員)  
⇒内容の変更は可能。(教務)

## (3) 学校運営協議会の自己評価について

項目に従い、各自、自己評価を行った。項目4：来年度の目標について、委員からは以下の発言があった。

- 「学校支援活動の充実、竹っ子サポーターの拡大」は継続していきたい。(田澤委員)
- 「郷土の歴史・文化を楽しく学ぶ機会の提供」を目標とし、地域かるたの復刻と競技会の開催や、地域探求ツアーの企画実施など、具体的にやっていきたい。(田澤委員)
- 郷土への愛着は大事。郷土の変化もあり、西都台地区の区画整理による工事にて、交通事故だけは気を付けたい。また、子供たちが、どんな工事が調べることも勉強になると思う。(高部委員)
- 郷土を学ぶための特技や知識を持つ地域人材をリスト化し、協議会でやっていくことはとても意味がある。(田澤委員)

## その他報告事項

### (通学路の危険箇所等の改善の報告と、その他通学路の危険箇所等への意見)

- JAのところ等、道の脇に草がいっぱい生えていると道が狭くなる。草刈りを。(横原委員)
- 自転車の青切符が4月から始まる。自転車の危険性も子供に指導を。(松下委員)

### (学校支援コーディネーター 坂下さんより)

- 先生のゆとりができるように、今後もお手伝いできればと思う。学校から、こんな支援がほしいという話をいただきたい。
- 12月にクリスマスイベントを開催。地域の方と子供たちの交流の場になればと思う。来年度以降も続けていきたい。4月からは新1年生の給食のお手伝いをしていく。

### (入野協働センター 野嶋さんより)

- 入野地区コミュニティ協議会にて作成している「ふるさと愛称標識マップ」が来月完成する。学校に配布予定なので活用してほしい。

### (学校より)

- 稲垣委員、辻村委員、八嶋委員が今年度で協議会の委員を退任される。

司会から、次回会議は、令和8年4月23日(木)午後1時10分から西都台小学校2階研修室で、開催する旨の報告があった。